

一般会計 2億471万3千円 の追加
予算総額は 112 億 8771 万 5 千円となりました。

▶ 一般会計・主な事業 ◀

- ・ みどり認定こども園外構整備工事請負費……………833万円
- ・ 道路維持補修工事請負費……………4, 150万円
- ・ 防雪柵設置等の委託費……………1, 651万7千円
- ・ DX推進、高校の魅力化向上に資するため
地域おこし協力隊費用……………260万円

▶ 介護保険事業特別会計補正予算 ◀

- ・ 保健事業勘定……………3, 626万3千円を追加
……………総額9億2, 465万6千円
- ・ 介護サービス事業勘定……………1, 573万3千円を追加
……………総額6億5, 699万8千円

令和八年・第三回定例会

補正予算可決

選挙

選挙第2号

釧路北部消防事務組合議会
議員の選挙について
議員辞職により欠員と
なった組合議会議員に鴻池
智子議員が選出されまし
た。

議案

議案第55号

標茶町表彰条例に基づく被
表彰者の決定について
自治功労表彰 1名
教育文化スポーツ功労表彰 1名
社会開発功労表彰 1団体
在任功労表彰 111名
善行表彰 2名
勤続表彰（消防団員） 4名
議会はこれに同意しまし
た。

議案第56号

工事請負契約の締結につい
て
契約の目的

標茶中茶安別線道路改良
舗装工事

契約金額

1億3750万円

契約の方法

指名競争入札

契約の相手方

住友・新根特定建設工事

共同企業体

議案第57号

標茶町税条例の一部を改正
する条例の制定について
地方税法及び地方税法等
の一部を改正する法律等の
公布に伴い、公的年金等受
給者の扶養親族等申告書の
提出義務の範囲の見直しに
伴う改正、固定資産税の免
税点の改正、特定暗号資産
取引に係る課税の見直しに
伴う規定の新設でありま
す。

議案第58号

標茶町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

「出入国管理及び難民認定法」、「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」及び「電気通信事業法」の改正に伴い、現行の個人番号カードに加え、「特定在留カード」及び「特定特別永住者証明書」を利用してコンビニ交付サービスによる印鑑登録証明書を取得できるとするものです。

議案第59号

標茶町育成牧場条例の一部を改正する条例の制定について

町育成牧場の経営の健全化のため、使用料及び手数料の改正、区分を整理をし、適正な負担を求めるために改正を行い、あわせて条文の整理を行うものです。

議案第60号

標茶町めん羊振興に関する条例の一部を改正する条例の制定について

めん羊事業の収支のバランスの改善を図るため、料金の改正及び区分を整理するものです。



諮問

諮問第1号～2号

人権擁護委員候補者の推薦について

「湊谷 美樹治氏」と「山澤 正宏氏」の2名の推薦について議会は同意しました。

一般質問

町政を問う

財政再建のスキーム(計画)の全体像を明らかにすべきだ
町長 来年度は96億円程度の予算規模へ

迪 議員
深見

令和8年8月20日の全

員協議会で育成牧場施設使用料及び手数料とめん羊料金についての説明があったが、これまで様々な各部署での提案があった。

また、議会が周知しない

中で会計年度任用職員が突然フルタイムからパートタイムに変わったり、通常でいえば、来年度も雇用されるはずの職員が雇用を切られたり、さらには様々な事業の縮小、補助金カットなどがあり、これらについては今までの議会の中でも議論があった。

議会は来年度に向けてどの程度の財政再建計画の金額での考え方及びスキームなどを町から知らされている

ない。

財政再建計画の財政面や総合的な計画、たとえばどの分野でどの程度の財政計画を今後行おうとしているのか金額を含めて明らかにすべきではないか。

本町の財政状況については、公債費の増加などにより、財政運営が一層厳しくなることが見込まれる。そのことから歳入歳出の両面から抜本的な見直しを進めていくことが必要であり、標茶町行財政改革推進計画に基づき進めていく。

今年5月から町民説明会を開催し、本町の財政状況を



標茶町役場

や行財政改革の必要性について説明した。
育成牧場の使用料及び手数料、めん羊料金の見直しについても行財政改革の取組として検討している。
来年度に向けた財政再建の考え方としては、限られた歳入に合わせて歳出そのものを見直していくことが基本的なスキームとなる。
来年度の予算規模は96億円を目安としており、行財政改革推進室を中心に、各事業の必要性や効果、将来にわたる財政負担などの観点で事業評価を進めていき、予算規模に見合った歳出構造へ転換していく。

深見 迪 議員

児童・生徒の安全のためと保護者等の負担軽減のために通学時の持ち物軽減を

問 文部科学省は、これまで保護者等負担で毎年購入していた教材（例…算数セット、彫刻刀、裁縫セット等々）を学校備品として整備する通知を出した。それらを自治体が整備できるよう所要の地方財政措置を講じているとあるが、具体的な財政措置の内容について聞く。

通学時の児童の持ち物については依然としてランドセルのほかに水筒や学習用具など両手がふさがっているような状態が多い。転倒したときなど安全性を保てるか疑問であると考えているがどうか。

時代に即した教育環境へ

答

本町においても、保護者の経済的負担の軽減と児童・生徒の安全確保の両面から、実効性のある取組が必要であると考えている。

文部科学省は令和8年7月、物価高騰から保護者の経済的負担を軽減することを目的とした通知を出している。補助教材の学校備品化、制服・ジャージの指定見直しやリサイクル品の活用などが示されるが、教職員の負担過重や保護者の理解が求められる。

普通交付税措置がされているが、具体的な算入額の明示はなく、追加増額される性質のものでもない。荷物の学校管理や共有化は、通学時の身体的負担軽減及び安全確保に直接寄与するものと考えている。

児童・生徒が安全・安心に通学できる環境の整備と保護者の経済的負担軽減は教育環境の向上に欠かせない要素であり、時代に即した教育環境の整備に努めていく。

た教育環境の整備に努めていく。

デジタル教科書は子どもの学力や健康に悪影響を与えないか

問 紙の教科書からデジタル教科書への転換は子どもの学力や健康にどのような影響を与えるか教育長の所見を聞きたい。

「デジタルが学校の授業時間を支配すべきではない」としたノルウエーのノルトウン教育相の日本に対する助言があった。ノルウエーはいわばデジタル教育の先進国であったが、10年経って「生成AI（人工知能）は小学校では原則使えないようにする」と表明するなど日本とは逆の大転換をしつつあるが、教育長の見解を聞く。

紙の教科書からデジタル教科書への転換は子どもの学力や健康にどのような影響を与えるか教育長の所見を聞きたい。

良い影響と懸念される面を見極めていく

答

本年6月、国会においてデジタル教科書を紙の教科書と並ぶ正式な教科書とする法改正が成立した。

良い影響として、学習面では動画・音声により直感的な理解の促進、学習履歴の即時検索における個別的な学びの効率的な展開が挙げられる。また、発達障害のある児童生徒など、強力に支援する側面を持つ。健康面では教科書の重量を削減できることで、身体的負担などの軽減が期待される。

懸念される面として、学習面では授業の注意散漫・長文読解力の低下などが指摘されている。健康面では視力低下・姿勢悪化が指摘されている。

ノルウエー教育相の指摘については、技術導入が目的化し、子どもの発達影響の配慮や学習効果の検証が追い付かないまま拡大した

事への反省と理解する。反省や検証結果を踏まえ、アナログとデジタルの良さを生かした教科書の使用と指導力の向上に努める。

AIについては、特に小学校段階における生成AIの利活用に関して、児童の認知発達への影響を考慮し、慎重な見極めが必要である。



デジタル教科書

旧阿歴内小中学校の利活用について

町長 地域の意見を聞いて方向性を

鴻池 智子 議員

問 令和5年2月、総務経済委員会

の所管事務調査において、閉校校舎の有効利用をテーマに、旧阿歴内小中学校を視察した。

その後、同僚議員から数回にわたり、旧阿歴内小中学校の利活用についての質問がされた。

これまでの答弁では、旧阿歴内小中学校を、公民館、農協事業所、消防団施設などを複合的に配置する施設として整備する方向で調整し、令和9年度の移転・共用開始を予定して取り組んでいると伺っている。

しかしながら、現在の厳しい財政状況を踏まえると、当初の計画どおり事業を進めることが適切なのか、改めて検討する必要があると考え、次の点について伺う。

1 点目として、旧阿歴内小中学校の利活用について、現在までの具体的な進

捗状況を伺う。

2 点目として、令和9年度の移転・共用開始という当初の計画について、今後も継続案件として進めていく考えなのか、それとも財政状況等を踏まえ、計画内容や事業規模、スケジュールなどの見直しを考えているのか伺う。

3 点目として、外部から旧校舎を利用したいという要望や相談が現在あるのか。また、今後の利用者の募集や活用の可能性について、どのように考えているのか伺う。

閉校した学校施設は、地域にとって貴重な財産であるが、一方で施設を維持・改修していくためには、将来的な財政負担も十分に考慮しなければならない。

単に施設を残すという視点だけでなく、地域の活性化や住民の利便性向上につながる施設として、将来

にわたって持続可能な活用方法を検討する必要があると考えるが町としての見解を伺う。

答 1 点目として、地域の皆さんのご意見を踏まえ、既存施設の複合化や地域コミュニティ拠点の創出をテーマとし、検討している。

一方、近年の物価高騰・維持管理の増加など財政状況は厳しく、具体的な整備事業を進めるに至っていない。将来的な負担も踏まえ、改めて検討する段階と認識する。

2 点目として、コミュニティ拠点として一体的に地域の活性化につなげていくという考え方は大切にしていきたい。しかし施設改修・地域機能の集約には相当の財政負担があり、慎重な検討が必要である。町全体の施策との整合を図りながら実施可能性のある活用方法について検討していく。

3 点目として、現時点では具体的な事業計画を伴った利活用の申し出はない。



旧阿歴内小中学校

今後については民間事業者・地域・団体などから広く提案を受けることも必要であると考えている。そのためにも情報発信を行い、幅広く利活用の可能性を探っていくことも検討する。

本町においても人口減少子高齢化が進む中、既存施設を同じ形で維持することは財政的に困難である。地域における役割などを総合的に検証し、地域の皆さんの意見を伺いながら、一定の方向性を早期に整理していきたい。

鴻池 智子 議員

観光協会のトイレ改修について

問 観光客や地域住民が利用する施設として、ト

イレ環境の整備は、観光振興や利用者の利便性向上の観点からも重要であると考え

る。現在、観光協会のトイレ改修について、今後どのような方向で整備を進めていく考えなのか、改修の必要性や具体的な計画、財源の確保を含め、町の今後の方針を伺う。

例えば、市町村が主体となり整備する観光地であれば「市町村振興宝くじ」の収益金を財源として、自治体独自の予算で改修できる場合もあり、また各都道府県や国の観光庁では、観光協会や民間団体を対象として「観光公衆トイレ整備補助金」や「インバウンド対応トイレ整備補助金」を定期的に募集している。

様々な方法で検討して

るべきと考えるが、町の見解を伺う。

制度を活用し対応したい

答 標茶町バスターミナルについては、令和4年から標茶町観光協会を利用しており、観光案内所として利用している。

当面は観光情報発信拠点と位置づけ活動していくが、観光情報発信や特産品を買取することが出来る施設の在り方については継続した議論が必要な状況である。

将来的な利活用の方向性によつては、トイレ改修だけでなく、全体的な施設改修も考えられることから、関係機関と議論を続け施設の在り方を検討していきたい。

改修を計画した際には補助事業を含め、条件に合った制度を活用し、対応していきたい。

ぼん・ぼんゆの馬に設置されている馬用パドック柵について

町長 シラルトロ歩道を活用しホーストレッキ

一隆 議員
櫻井

問 ①茅沼温泉施設ぼん・ぼんゆの旧パークゴルフ場の跡地に縦横20メートルの柵が設置されている。設置するに至った理由とその使用目的について伺う。

路湿原国立公園内での魅力ある自然体験を提供していく。

②資金はどの予算から支出されたのか。また、工事金額について伺う。
③さらに、冬季も使用する計画なのか伺う。

答

①昨年度、モニターツアーを実施し、環境省、乗馬サービス提供事業者と協議調整の結果、ホーストレッキングコースとしてサービスの提供が出来る事になり、馬の休憩、乗馬の準備を行うパドックを整備した。

②資金は令和8年度当初予算で340万円を措置し、実際の契約金額は366万3千円である。

③事業者が冬期間も希望すれば使用していただく。釧



ぼん・ぼんゆの馬用パドック柵

地域・自治体主導の取り組みによる個別型バイオガスプラントの促進を

町長 今後とも関係機関と協議を進める

定之 議員
渡邊

問 家畜の糞尿対策として、本町が取り組んできたバイオガスプラントの設置について議論が交わされてきたが、現在のエコヴィレッジ推進協議会での議論はどうなっているか。

糶システム戦略技術やバイオマス地産地消対策などを研究し、バイオガスプラントの導入を検討するべきではないか。

また、町として固定価格買取制度の延長やクラスター事業の拡充などを要望していくべきと考えるがどうか。

さらに消化液の肥料効果などについても注目されており、サイレージの質の改善や雑草が減ったという話も聞く。これらの点についてどのように評価しているか。

大型プラントについては、農家からコスト面で導入が困難であるとの議論もされたが、個々の農家を取り組める個別型プラントを導入することにより、地元の業者による設置や維持管理も可能になると考えるがどうか。

国が推進するみどりの食



個別型バイオマスプラント



本町の農家経営をモデルとして建設費・売電収入・維持管理費・副資材確保のコスト・消化液処理費など具体的に検証し、事業の可能性を研究する。

先行事例を参考に本町の農業環境において同様の効果が引き出せるか研究する。

地元事業者が主体的に関われる仕組み作りも検討する必要があると考える。

政策の方向性を踏まえバイオガスプラントの研究を進め、関係機関と連携し補助金活用で事業スキームを研究する。

標茶高校への更なる支援を

町長 宿泊費の一部支援が基本である

鈴木 裕美 議員



標茶高校は平成12年に総合学科をスタートさせた。町は標茶高校をなくしてはならない貴重な財産と位置付けし、標茶高校教育振興会を通じ、通学定期代の一部補助、寮入居生徒への使用料補助などの支援を行っている。

現在、22名の寮生は祝祭日などで連休の場合、舎監が不在になることから、寮は施設され使用できない。自宅に戻ることが難しい寮生が民間の宿泊施設を利用する場合、教育振興会から1泊5000円の助成があるが、宿泊料金はさらに高く、一部個人負担を余儀なくされている。

このような事情で宿泊する場合の料金について、町が民間宿泊事業者に対し、通常料金よりも安い特別料金の設定を要請し、協議してはと考えるがどうか。

今年は東京から学校の見



学に来る人もおり、問い合わせも5件ほどあると聞いている。生徒へのきめ細やかな支援を行うことは、標茶高校への入学希望者を増やすことにつながると思うので、検討してはどうか。

寮が3日間閉鎖となるような連休において、自宅に戻ることが出来ない寮生が民間宿泊施設を利用する場合に、本年度から教育振興会で宿泊費の一部として1泊5000円を支給している。

教育振興会も一つの補助団体なので、ここだけに特化して増額するのが適切かどうかについては予算全体の公平性も含めて検討していく。

鈴木 裕美 議員

釧路湿原かや沼観光宿泊施設の利用状況と周辺整備について



釧路湿原かや沼観光宿泊施設はオープンから2年を迎えようとしているが、これまでの町内・町外別の宿泊者数及び日帰り入浴の利用者数を伺う。

また、利用者からの要望や苦情はどのように改善しているか。さらに、この2年間で施設の修理・修繕等に町が支出した金額はいくらか。

町の観光振興計画では宿泊施設周辺を整備し、指定管理者を含めてイベントを企画することとしていたが、整備状況とイベントの開催状況を聞く。

要望は指定管理者と共有する



令和6年度の9月30日から年度末までの宿泊者数は町内が156人、町外が1175人。日帰り入

浴は町内が3002人、町外が13379人である。令和7年度の宿泊者数は町内が186人、町外が5593人。日帰り入浴は町内が3485人、町外が15739人である。令和8年度の8月までの宿泊者数は町内が22人、町外が2561人。日帰り入浴は町内が1620人、町外が7430人である。

利用者からの要望は施設を良いものとしていくための意見と認識しており、指定管理者と情報共有していく。



ぼん・ぼんゆ

「くしろ湿原ノロッコ号」運行終了の経緯と影響は

町長 沿線全体で観光振興に取組む

松下 哲也
議員

問 37年にわたり釧路湿原の雄大な景観をゆっくりと眺望できる観光列車として毎年約6万人、これまで延べ220万人の多くの観光客に利用され塘路駅に降り立って頂いたが、車両の老朽化により、10月をもって運行終了の報道があった。これまで町長として要請活動をしているが、何点か伺う。

④ノロッコ号の代替運行の要請を行ってきたが、その成果は。

⑤「くしろ湿原ノロッコ号」の終了は標茶町観光ブランドへの打撃は大きい。新しい観光戦略を構築する必要があると考えるがどうか。

①来年度の釧網線での観光線区としてのJRの取り組みの説明内容は。

②説明を受け、JR北海道釧路支社長に対し「塘路地域における観光振興に向けた観光列車運行に関する要請」の内容とJRの回答は。

③来年4月から、豪華列車「赤い星」が運行されると言われているが、町との協議内容や運行回数、塘路駅・標茶駅での停車、滞在時間の確保等はどうか。



くしろ湿原ノロッコ号

JR北海道からは「くしろ湿原ノロッコ号」は車両の老朽化に伴い、本年秋をもって運行を終了する旨の説明があった。来年4月から7月に新たな観光列車「赤い星」が運行される。7月、8月はキハ54型2両編成の臨時列車を20日間、釧路、川湯温泉駅間で運行の方針が示された。しかし各停車駅や、停車時間等の詳細な説明はなかった。

要望は、ノロッコ号と同様の運行期間、停車時間の確保や運行期間・計画の早期開示。夕暮れの景観を生かすダイヤ編成、9月以降の運行、ラッピング等の魅力創出を要望した。

「赤い星」の企画は、事前に沿線自治体への相談はなかった。

また、既存車両の改修は全く考えていないとの回答である。

管内沿線の自治体や民間事業者とも連携し、釧網線の観光振興に取り組んでいく。

第3回臨時会

(8月20日)

選挙

選挙第1号

副議長選挙について

前副議長の議員辞職により、後任に深見迪議員が選出されました。



副議長 就任あいさつ

深見 迪

この度副議長退任に伴い選挙が行われ、副議長に選出されました。

今、本町の財政は見通しのない箱もの建設により、

かつてない財政難に陥っています。先人が残してくれていた町の貯えは底をつき、大きな借金を抱えてしまっています。

無論ここに至るまで議会では事業の賛成、反対を含め激しい議論が行われました。しかし結果として今日の厳しい財政事情を招いた責任は議会もこれを負わなければならぬと思っています。

地方自治法では「地方公共団体(町)は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」とあります。何よりも主権者である町民のみなさんの意見に耳を傾けることを最優先にした町政、そして、住民福祉の後退だけは何としてもくい止める役割を議会も果たさなければならぬと思っています。

その意味で副議長の責を果たすよう、努力してまいります。